

# 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 株式会社 エフアンドエム  
 コード番号 4771 URL <http://www.fmltd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森中 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田辺 利夫  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日 配当支払開始予定日 未定

上場取引所 大

TEL 06-6339-7177

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	2,561	△5.9	149	△57.0	145	△58.0	40	△83.0
21年3月期第3四半期	2,723	—	346	—	345	—	239	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	284.38	—
21年3月期第3四半期	1,621.99	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年3月期第3四半期	4,650		3,534		75.7	24,507.99
21年3月期	4,906		3,565		72.3	24,718.45

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 3,519百万円 21年3月期 3,549百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	500.00	500.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,711	0.3	389	△18.9	379	△20.2	190	△35.1	1,329.10

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
  - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |          |             |          |
|----------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第3四半期 | 154,814株 | 21年3月期      | 154,814株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第3四半期 | 11,212株  | 21年3月期      | 11,212株  |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 143,602株 | 21年3月期第3四半期 | 144,913株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想(平成21年10月29日発表)の見直しは行っておりません。上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、国内外で実施された景気刺激策により、輸出・生産は緩やかな回復基調にあります。しかしながら企業業績は依然として低迷しており、また雇用環境の改善が見られない中で個人消費は低調に推移するなど、景気は持ち直しつつあるものの、回復力は弱い状態を持続しております。

このような環境の下、当社グループは主要事業の会員数を増加させるとともに、サービスの拡充と業務の効率化によるコスト競争力の強化を推し進め、収益体質の改善に努めてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25億61百万円（前年同期比5.9%減）となり、連結営業利益は1億49百万円（同57.0%減）、連結経常利益は1億45百万円（同58.0%減）、当第3四半期連結累計期間純利益は40百万円（同83.0%減）となりました。

（連結各セグメントの概況について）

事業の種類別セグメント

・ 事業区分別営業収入の状況

種類	金額（千円）	構成比（%）	前年同期比増減（%） （参考）
アウトソーシング収入	1,263,313	49.3	11.1
タックスハウス収入	182,036	7.1	△32.9
エフアンドエムクラブ収入	814,256	31.8	1.0
不動産賃貸収入	54,513	2.1	△27.1
その他サービス収入	247,370	9.7	△43.0
合計	2,561,489	100.0	△5.9

（注）セグメント間の取引については相殺消去しております。

①アウトソーシング事業

生命保険営業職員を中心とする個人事業主および小規模法人に対する記帳代行に関しましては、前期から引き続き会員数の安定的な増加に注力すると共に、生命保険に限らない一般の記帳代行会員の増加に向けて、サービスの拡充と新規チャネルの開拓に取り組んでまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間末（平成21年12月31日）の記帳代行会員数は38,575名（前期末比5,275名増）となりました。そのうち生命保険に限らない一般の記帳代行会員数は1,565名（同651名増）となりました。

一般の記帳代行においては、処理スタッフを増員して引き続き効率的なサービス提供体制の構築を進めると共に、営業面においては各社との連携を推し進めるなどして、更なる販路開拓を行いました。

この結果、アウトソーシング事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は12億63百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は4億64百万円（同2.5%減）となりました。

②タックスハウス事業

ワンストップ・ファイナンシャルショップを目指す、税理士・公認会計士のボランタリーチェーン

「TaxHouse」の本部を運営するタックスハウス事業は、既存加盟店に対するサービスの拡充に努めることにより、各店舗の収益力を向上させると共に、安定的な売上確保に努めました。その結果、当第3四半期連結累計期間末（平成21年12月31日）の「TaxHouse」加盟事務所数は457件（前期末比27件減）となり、ブランチを含めた加盟店舗数は557店舗（同27件減）となりました。また、マルチバンク構想に向けた進捗につきましては、ソニー銀行株式会社と業務委託契約を締結し、平成21年12月7日より銀行代理業による金融サービスの提供を開始しました。

この結果、タックスハウス事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1億82百万円（前年同期比32.9%減）、営業利益は4百万円（前年同期は4百万円の損失）となりました。

③エフアンドエムクラブ事業

主に中小企業の総務部門に対する各種情報提供サービスを核とするエフアンドエムクラブ事業は、従来の総務周辺情報提供サービスに加え、財務面での情報提供サービスの販路開拓とサービス拡充に努めました。具体的には、クライアント企業の財務諸表からキャッシュフロー診断を行い資金戦略をサポートする『財務サポートサービス』、格付診断書を作成し、診断結果をベースに改善すべき点を洗い出し、将来の財務体質の強化、銀行からの格付を改善することを目指す『格付診断サービス』があります。また、会員企業の増加に向けては、生命保険会社に協賛したセミナーや既存の会員企業が所属する団体等とタイアップしたセミナーを数多く開催することにより、営業機会の増強に努めました。

同事業の主要顧客である中小企業においては、景気の底打ちに伴い回復移行期にあるものの、依然として取り巻く環境は厳しく、会員の継続および新規獲得においては当初計画との乖離が発生し、当第3四半期連結累計期間末(平成21年12月31日)のエフアンドエムクラブ会員数は3,384社(前期末比257社減)となりました。

この結果、エフアンドエムクラブ事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は8億14百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は64百万円(同74.7%減)となりました。

#### ④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は大阪本社が所有するビルの賃貸収入で、比較的安定した収益を計上しておりますが、昨今の経済状態を反映したテナントの入れ替えや自社利用の増加などもあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は54百万円(前年同期比27.1%減)0百万円の営業損失(前年同期は19百万円の利益)となりました。

#### ⑤その他

その他事業は、連結子会社エフアンドエムネット株式会社のシステム開発事業ならびにパソコン教室運営とFC指導事業等となります。

長引く不況により悪化した雇用環境に対応するため、個人の市場価値を向上させるための手段の一つとしての資格取得に対し、昨今非常に高い注目が集まるようになりました。パソコン教室運営事業においては、このような状況を好機と捉え、リーズナブルな価格で、かつ通学時間を自由に選べる『資格学校アテナ』へとパソコン教室を改変することと致しました。皮切りとして医療事務講座を開講しております。医療事務資格は根強い人気を持つ資格として知られており、また業界の状況としては不況に強いビジネスとして、他の資格学校も受講生を大きく増やしております。高齢化社会が加速することを背景に、医療業界は今後ますます需要が高まる分野であり、それに比例して事務作業も発生するため、医療事務職は将来的にも需要が充分見込める業種となります。医療事務は資格が必要となるため、一過性のものではなく景気回復後も引き続き、注目は衰えないものと考えております。業績へは第4四半期以降に寄与するものと予測しております。

その結果、その他事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は2億47百万円(前年同期比43.0%減)、42百万円の営業損失(前年同期は8百万円の利益)になりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### ①総資産および純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、売掛金77百万円、その他流動資産47百万円などが増加した一方、現金及び預金1億39百万円、差入保証金21百万円、定期預金1億50百万円などが減少したことにより、前連結会計年度末比2億56百万円減少の46億50百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間末における純資産につきましては、当第3四半期純利益40百万円、配当金の支払71百万円などにより、前連結会計年度末から30百万円減少の35億34百万円となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間末の自己資本比率は75.7%となり、前連結会計年度末より3.4ポイント上昇いたしました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は51百万円の減少となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1億44百万円、減価償却費70百万円、その他流動負債の増加1億30百万円などの収入があった一方、法人税等の支払額2億75百万円、売上債権の増加90百万円、賞与引当金の減少42百万円などの支出があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、1億13百万円の収入となりました。これは主に貸付による支出25百万円、有形固定資産の取得による支出24百万円、無形固定資産の取得による支出21百万円などがあった一方、定期預金の払戻による収入1億50百万円、差入保証金の回収による収入20百万円、貸付金の回収による収入16百万円などがあったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、2億1百万円の支出となりました。これは主に配当金の支払額71百万円、社債の償還による支出70百万円、長期借入金の返済による支出60百万円などがあったことによるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成21年10月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の内容から変更はございませんが、足元の状況や今後の収益見込等予測できる範囲での情報を総合的に勘案した上で、予想の修正等が見込まれる場合は、適時開示いたします。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
法人税等の算定方法  
法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法  
によっております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,781,686	1,920,862
受取手形及び売掛金	253,537	173,946
商品及び製品	17,857	22,664
仕掛品	7,003	237
原材料及び貯蔵品	1,477	1,689
繰延税金資産	36,634	68,308
その他	110,169	62,371
貸倒引当金	△7,604	△7,396
流動資産合計	2,200,762	2,242,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,011,811	1,025,351
工具、器具及び備品(純額)	69,854	83,318
土地	729,631	729,631
有形固定資産合計	1,811,297	1,838,300
無形固定資産		
のれん	14,751	15,443
その他	83,422	79,466
無形固定資産合計	98,174	94,910
投資その他の資産		
投資有価証券	15,051	14,037
繰延税金資産	25,900	28,204
滞留債権	144,019	132,554
長期預金	150,000	300,000
保険積立金	119,573	118,569
差入保証金	180,154	201,838
その他	82,574	101,560
貸倒引当金	△177,098	△165,831
投資その他の資産合計	540,174	730,933
固定資産合計	2,449,646	2,664,144
資産合計	4,650,408	4,906,829

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,177	15,329
短期借入金	80,000	80,000
1年内償還予定の社債	—	70,000
未払法人税等	315	179,819
賞与引当金	58,125	100,456
その他	328,608	197,727
流動負債合計	479,225	643,332
固定負債		
長期借入金	580,000	640,000
負ののれん	3,132	3,268
その他	53,549	54,809
固定負債合計	636,681	698,077
負債合計	1,115,907	1,341,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	907,401	907,401
資本剰余金	2,085,810	2,085,810
利益剰余金	798,191	829,155
自己株式	△271,316	△271,316
株主資本合計	3,520,087	3,551,050
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△690	△1,431
評価・換算差額等合計	△690	△1,431
新株予約権	3,006	2,233
少数株主持分	12,097	13,567
純資産合計	3,534,501	3,565,419
負債純資産合計	4,650,408	4,906,829

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2,723,221	2,561,489
売上原価	880,632	843,016
売上総利益	1,842,588	1,718,472
販売費及び一般管理費	1,496,063	1,569,418
営業利益	346,525	149,054
営業外収益		
受取利息	10,219	9,036
受取配当金	251	101
負ののれん償却額	135	135
業務受託料	711	921
保険事務手数料	262	260
除斥配当金受入益	482	1,235
その他	4,128	1,034
営業外収益合計	16,192	12,725
営業外費用		
支払利息	13,424	11,560
社債利息	2,808	669
貸倒引当金繰入額	—	3,750
自己株式取得付随費用	823	—
その他	9	532
営業外費用合計	17,065	16,512
経常利益	345,652	145,267
特別利益		
ポイント債務消滅益	35,074	—
特別利益合計	35,074	—
特別損失		
固定資産除却損	900	682
減損損失	4,874	—
保険契約解約損	1,943	473
特別損失合計	7,717	1,155
税金等調整前四半期純利益	373,008	144,112
法人税、住民税及び事業税	111,354	71,275
法人税等調整額	22,259	33,468
法人税等合計	133,614	104,744
少数株主損失(△)	△406	△1,469
四半期純利益	239,801	40,837

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	926,429	877,958
売上原価	292,057	282,960
売上総利益	634,371	594,997
販売費及び一般管理費	499,898	526,854
営業利益	134,473	68,142
営業外収益		
受取利息	3,884	2,647
負ののれん償却額	45	45
業務受託料	233	317
保険事務手数料	90	88
その他	227	258
営業外収益合計	4,481	3,357
営業外費用		
支払利息	4,424	3,729
社債利息	716	111
自己株式取得付随費用	445	—
その他	0	18
営業外費用合計	5,585	3,859
経常利益	133,369	67,640
特別損失		
固定資産除却損	300	82
保険契約解約損	1,943	—
特別損失合計	2,243	82
税金等調整前四半期純利益	131,126	67,557
法人税、住民税及び事業税	38,118	7,867
法人税等調整額	19,689	31,651
法人税等合計	57,808	39,518
少数株主利益	560	△904
四半期純利益	72,756	28,943

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	373,008	144,112
減価償却費	76,390	70,902
減損損失	4,874	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,248	11,475
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43,312	△42,331
受取利息及び受取配当金	△10,470	△9,137
支払利息	16,232	12,230
有形及び無形固定資産除却損	300	682
保険解約損益 (△は益)	1,943	473
売上債権の増減額 (△は増加)	70,770	△90,035
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,098	△1,747
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,692	△3,151
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	15,599	△5,475
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	31,171	130,619
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△2,106	△1,259
その他	1,596	10,221
小計	535,650	227,575
利息及び配当金の受取額	7,159	8,681
利息の支払額	△15,912	△12,109
法人税等の支払額	46,381	△275,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	573,279	△51,001
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	150,000
有形固定資産の取得による支出	△13,389	△24,191
無形固定資産の取得による支出	△27,951	△21,551
貸付けによる支出	—	△25,000
貸付金の回収による収入	24,366	16,000
譲渡性預金の払戻による収入	500,000	—
差入保証金の差入による支出	△1,080	—
差入保証金の回収による収入	—	20,184
その他	2,106	△1,951
投資活動によるキャッシュ・フロー	484,051	113,488
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△65,000	△60,000
社債の償還による支出	△158,000	△70,000
自己株式の取得による支出	△84,435	△0
配当金の支払額	△73,574	△71,664
その他	△823	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△381,834	△201,664
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	675,496	△139,176
現金及び現金同等物の期首残高	594,267	1,920,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,269,763	1,781,686

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

(単位:千円)	アウトソーシング事業	エフアンドエムクラブ事業	タックスハウス事業	不動産賃貸事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	1,137,272	805,958	271,330	74,739	433,920	2,723,221	—	2,723,221
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	49,847	—	5,472	68,297	123,618	(123,618)	—
計	1,137,272	855,805	271,330	80,212	502,218	2,846,839	(123,618)	2,723,221
営業利益(又は営業損失(△))	476,508	254,340	△4,864	19,409	8,405	753,800	△407,275	346,525

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

(単位:千円)	アウトソーシング事業	エフアンドエムクラブ事業	タックスハウス事業	不動産賃貸事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	1,263,313	814,256	182,036	54,513	247,370	2,561,489	—	2,561,489
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,144	17,913	5,472	78,392	104,922	(104,922)	—
計	1,263,313	817,400	199,949	59,986	325,762	2,666,411	(104,922)	2,561,489
営業利益(又は営業損失(△))	464,535	64,385	4,920	△660	△42,121	491,060	△342,006	149,054

[所在地別セグメント情報]

在外子会社および重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

6. その他の情報

(ご参考情報)

個別業績の概要

(百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	増 減
売 上 高	2,662	2,527	△135
営 業 利 益	335	164	△171
経 常 利 益	334	160	△174
四 半 期 純 利 益	231	57	△174
1株当たり四半期純利益	1566.89円	398.64円	△1,168.25円